

令和4年度地域振興基金を活用した区民活動助成制度の審査結果について

1. 目的

品川区地域振興基金を活用し、区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体を対象に、地域の課題や社会的課題の解決に向けた事業に資金助成を行い、多様な公益活動の活性化を目指すとともに、活動団体の育成を図る。

2. 事業概要

区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体が、4月1日から翌年2月28日までに実施する事業に対し、資金助成を行う。

3. 申請

(1) スケジュール

説明会	令和4年4月13日（水）
事前相談	令和4年4月18日（月）～4月28日（木）
申請書類提出	事前相談終了後～4月28日（木）
第1次審査会（書類審査）	令和4年5月30日（月）
第2次審査会（面接審査）	令和4年7月 1日（金）

(2) 助成金の種類

- ① チャレンジ助成（品川区内において活動の継続・発展を支援する）
- ② スタートアップ助成（品川区内において活動の立ち上げを支援する）
- ③ トライ助成（区が提示するテーマおよび要件を満たす事業による区政への参画促進）

(3) 申請できる団体

- ① 品川区内において公益活動を目的として活動している団体（NPO法人、ボランティア団体等）であること。
- ② スタートアップ助成については、団体設立からおおむね5年以内であること。
- ③ 区民活動情報サイト（しながわすまいるネット）に登録している団体であること。
- ④ 品川区に主たる事務所または活動拠点を有すること。
- ⑤ 3人以上で構成されていること。
- ⑥ 団体の運営に関する規則（定款、規約、会則等）が定められており、なおかつ、会計処理が適正に行われており、内容を提示できること。
- ⑦ 団体構成員相互の利益を図ることを目的とする団体（趣味サークル等）ではないこと。

(4) 対象となる事業

【チャレンジ助成・スタートアップ助成】

- ① 品川区の地域課題や社会的課題解決のために取り組んでいる事業であること。
- ② 品川区の地域づくりを目的とした事業であること。
- ③ 品川区民の福祉等の向上に寄与する事業であること。
- ④ 同一事業について、他の制度による助成を受けていないこと。
- ⑤ 同一事業について、令和元年度以前に本制度による助成を受けていないこと。

【トライ助成】

- ① 地域課題や社会的課題解決のために取り組む事業で、区が提示するテーマに取り組んでいる事業であること。
- ② 同一事業について、他の制度による助成を受けていないこと。

[令和4年度募集テーマ]

1. 食品ロス削減に向けた取り組み
⇒廃棄ゼロを目指し、飲食店や店舗などが出る賞味期限・消費期限が近い食事・食材等を消費者に提供するフードシェアリング事業
2. 子どもの学習機会保障に向けた取り組み
⇒学習障害（LD）傾向のある子どもを対象とした学習サポート事業

4. 審査方法

「地域振興基金活用推進会議」（審査会）による書類審査、面接審査を経て決定。

(1) 審査委員：7名（学識経験委員1名、有識者委員2名、公募委員2名、区職員2名）

(2) 審査基準：申請事業の内容、金額について次の基準で審査を行う。

- ① 事業の目的が明確であるか、具体的に示されているか
- ② 地域ニーズや地域課題、社会的課題を具体的に把握し示されているか
- ③ 多くの区民にとって有益な、公益性のある事業目的となっているか
- ④ 事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか
- ⑤ 実施体制や責任体制が明確であり、実施内容と組織体制が整合しており、継続的な事業実施が期待できるか
- ⑥ スケジュールが具体的で、実施可能な計画になっているか
- ⑦ 事業目的に合致し、成果が具体的に（数値、指標、状態など）示されているか
- ⑧ 事業を遂行することにより、団体の自立・成長・能力向上が期待できるか
- ⑨ 実現可能性の高い予算で収支のバランスがとれ費用の用途は事業目的に対し妥当か
- ⑩ 積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか

5. 助成金額について

(1) 助成の種類

助成金の種類	助成金額
スタートアップ助成	助成対象額の4分の3以内で上限30万円
チャレンジ助成	助成対象額の3分の2以内で上限50万円
トライ助成	助成対象額の10分の10以内で上限250万円

(2) 対象経費 謝礼、消耗品費、印刷費、使用料、人件費等

6. 予算 8,000 千円

7. 審査結果

申請：7事業

(1) 選定事業：5事業

…チャレンジ助成1事業、スタートアップ助成3事業、トライ助成1事業

	事業名	申請団体	助成額 (総事業費)
1	【チャレンジ助成 1年目】 しながわアレルギーネットワーク	(特非)アレルギーの正しい理解 をサポートするみんなの会 (理事長：前田 えり)	136,000 円 (237,110 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① 適切なアレルギー情報を共有できるネットワークを作り、アレルギー患者のQOL(生活の質)向上に寄与する。</p> <p>② アレルギー情報を集約するウェブサイトを作製し、専門医の監修も受けた情報を提供する。アレルギー情報を共有し支えあうネットワークづくりを目指す。</p> <p>③ 適切なアレルギー情報を発信しネットワークを作ることで、出生前から成人まで全ての人のQOL(生活の質)向上に寄与する。</p>			
2	【スタートアップ助成 1年目】 生活困窮世帯の中高生への学習支援 事業	(特非)マナビファクトリー (代表理事：石井 光生)	300,000 円 (466,027 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① 経済的に困難を抱える家庭の子どもが十分な学力を習得できるよう、学習支援事業を行う。</p> <p>② 高校・大学進学を希望する生活困窮世帯の中高生を対象に、週1回無料の学習支援を実施。</p> <p>③ 参加する生徒の学力向上・志望校への進学により、これからの社会を担う若者の人材育成に寄与する。</p>			
3	【スタートアップ助成 2年目】 すまいるキッズプログラム	すまいるキッズ (会長：西村 公児)	28,000 円 (38,216 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① GIGA スクール構想下においての、プログラミング教育による小学生のICT支援。</p> <p>② 小学生と保護者を対象にプログラミング教室を開催。オリジナルのゲーム作成などでプログラミングを楽しく学ぶ機会を提供。</p> <p>③ ICTについての関心が高まり、プログラムを通して自分の考えを表現することで、子どもの自己肯定力を育む。</p>			
4	【スタートアップ助成 2年目】 ハイブリッド型イベント運営テクニック研修会	(一社)モノづくりXプログラミング for Shinagawa (代表理事：杉本 将輝)	237,000 円 (524,446 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① コロナ禍で地域団体の対面での事業開催が困難な中、オンラインでの事業運営で活動を発展させるための支援を行う。</p> <p>② 地域団体を対象とし、オンライン・オフラインどちらでも参加可能なイベント運営について、体験学習型の研修会を実施する。</p> <p>③ 地域団体がオンラインイベントを実施できるようになることで、コロナ禍・アフターコロナの状況下においても活動を継続・発展させ、地域活動を推進することができる。</p>			

5	【トライ助成 1年目】 テーマ：子どもの学習機会保障に向けた取り組み 発達に特性傾向のある親子の健やかな学びと成長を目指した学習サポート事業	(一社)でっこぼっこ (代表理事：駒崎 圭子)	2,432,000円 (3,882,276円)
	[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果> ① 学習が困難な子どもが「その子らしく」学習に取り組み成長できるようサポートする。 ② 週1回の学習支援および月1回保護者面談を行い、学習の場と家庭双方での子どもの様子を共有し子育て相談の場を提供する。 ③ 発達障害・発達特性のある子どもに合った学びや育ちの場を提供し、子どもの多様性を受け入れる地域社会を作る。		
合計			3,133,000円 (5,148,075円)

(2)不選定事業：2事業（スタートアップ助成2事業）

[書類審査]（1事業）[面接審査]（1事業）

	事業名	申請団体
1	【スタートアップ助成 1年目】 『がんと仕事の両立支援』のためのイベント開催	NPO 法人※
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果> ① がんになっても働き続ける人を支援し、社会に対しがんと仕事の両立について正しい情報を提供し理解を深めてもらう。 ② がんになっても働き続けることをテーマにした講演会に加え、がん経験者の個人事業紹介としてワークショップを行うイベントを実施。 ③ がんになっても多様な働き方があることへの理解が深まる。 [不選定理由] 事業の目的については評価するが、会場確保など事業計画からは実施可能とは判断できず、不選定とする。		
2	【スタートアップ助成 1年目】 区内小中学校対象「企業とのマーケティング会議でアイデアを提案しよう！」体験事業	ボランティア団体※
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果> ① 児童・生徒の「主体的に探究する力」を育む。 ② 企業の企画業務体験を通し、協力企業とマーケティング会議を行い商品の新しい価値の発案を目指す。 ③ 児童・生徒が発想・創造・提案する楽しさを体感し、達成感を自信につなげ、主体的に生き抜く力を育むことができる。 [不選定理由] 魅力的な体験学習を通して、児童の探究意欲を高める事業を実施していることを評価するが、本助成金の意図する区民活動とは判断できなかったため不選定とする。		

※不選定のため団体名非表示

8. 審査後スケジュール

(1)助成金交付 8月上旬

(2)公開報告会 令和5年2月3日（金）きゅりあん大会議室